

■成績評価：11月28日の小試験(50%)と定期試験(50%)によって評価・判定する。受講態度も加味する。なお、小試験の結果に応じて、再試験の措置を講じることがある。

■注意事項：講義には出席し、教科書を持参すると理解しやすい。小試験は一回実施。

■準備学習：必ず事前に教科書を読んで、授業内容の目的を理解し、教科書にて新しく出てくる用語は覚えておくこと。帰宅後には復習を行い、疑問点はオフィスアワーの時間を利用して解決すること。

授業日・担当者	講義項目	学習到達目標
第1回10月24日(月) 9:00~9:50 本田 雅規	1. 歯と歯周組織 1) 歯と歯周組織概要	<ul style="list-style-type: none"> 歯と歯周を構成する諸構造の種類と位置的な関係を図示できるようにする。 歯や歯周の構成要素それぞれについて、その組織学的(顕微鏡的)な構造を概括し、本教科で学ぶ知識を整理する“引き出し”づくりをする。
第2回10月24日(月) 10:00~10:50 本田 雅規	1. 歯と歯周組織 2) エナメル質 (教2) pp. 263-269	<ul style="list-style-type: none"> エナメル質の成長線とその意義を学ぶ。 Hunter-Schreger 条の成因をエナメル小柱の走行と関連づけて立体的に理解する。 Retzius 条と、エナメル小柱の横紋、周波状、出生時の劇的な変化によって生じる新産線との関連性を理解する。
第3回10月28日(金) 11:00~11:50 本田 雅規	1. 歯と歯周組織 2) エナメル質 (教2) pp. 270-272	<ul style="list-style-type: none"> エナメル叢、エナメル葉、エナメル紡錘の構造と成因について理解する。 エナメル質と象牙質、象牙質とセメント質の境界部の構造について学ぶ。 エナメル質の加齢変化を学ぶ。
第4回10月31日(月) 10:00~10:50 本田 雅規	1. 歯と歯周組織 2) エナメル質 (教2) pp. 263	<ul style="list-style-type: none"> 象牙質、エナメル質、セメント質および骨の有機成分、無機成分の組成と、その差異とを学ぶ。 エナメル質の物理化学的性状と、それを構成する無機塩結晶の特徴を理解する。 エナメル質有機成分の種類と性状を学び、これらとエナメル質の微細構造や無機塩結晶との関連を理解する。
第5回11月4日(金) 11:00~11:50 本田 雅規	1. 歯と歯周組織 3) 象牙質 (教2) pp. 275-283	<ul style="list-style-type: none"> 象牙細管の走行と分布を理解する。 管間象牙質、管周象牙質、外套象牙質、髓周象牙質の成因、分布、構造を学ぶ。 象牙質の石灰化のパターンとそれに関連する構造を理解する。

<p>第6回11月4日(金) 13:00~13:50 本田 雅規</p>	<p>2. 組織像の見かた 1) 歯と歯周組織 2) エナメル質 1</p>	<ul style="list-style-type: none"> 歯とその周囲組織における各組織間の位置関係を顕微鏡下で確認する。 エナメル質で観察される次の諸構造を顕微鏡下で同定するポイントを学び、組織学的特徴と成因・機能などとの関係を再確認する。 <p>[エナメル質] エナメル小柱, 小柱間質, 小柱鞘 Hunter-Schreger 条, Retzius 条, 横紋</p>
<p>第7回11月7日(月) 9:00~9:50 本田 雅規</p>	<p>1. 歯と歯周組織 3) 象牙質 (教2) pp. 276-286</p>	<ul style="list-style-type: none"> 象牙質成長線の成因, 意義を理解する。 象牙質に加わる刺激に対しての象牙細管の組織学的反応とその臨床的な重要性を学ぶ。 象牙質知覚メカニズムの学説を学ぶ 象牙質に至る神経の名称や走行を学ぶ。 加齢や防御反応としての象牙質の組織学的変化を理解する。
<p>第8回11月7日(月) 10:00~10:50 本田 雅規</p>	<p>1. 歯と歯周組織 4) 歯髄 (教2) pp. 287-296</p>	<ul style="list-style-type: none"> 歯髄の細胞や基質線維の走向を学ぶ。 歯髄細胞層の構築と歯髄における脈管神経の分布, 形態学的特徴を理解する。 加齢にともなう歯髄の変化や, 象牙質粒の分類と成因を学ぶ。 刺激に対する歯髄組織の防御反応を学び, 臨床における歯髄保護の重要性を理解する。
<p>第9回11月11日(金) 11:00~11:50 本田 雅規</p>	<p>1. 歯と歯周組織 5) セメント質 6) 歯槽骨 (教2) pp. 297-312</p>	<ul style="list-style-type: none"> セメント質形成過程, セメント質にみられる細胞や基質線維の特徴を学ぶ。 顎骨および歯槽骨の構造を理解する。 固有歯槽骨の組織学的な構造を学び, 束状骨と層板骨の相違を理解する。 骨芽細胞や破骨細胞の形態や機能を理解する。
<p>第10回11月11日(金) 13:00~13:50 本田 雅規</p>	<p>2. 組織像の見かた 2) エナメル質 2 3) 象牙質 1</p>	<ul style="list-style-type: none"> エナメル質・象牙質で観察される次の諸構造を顕微鏡下で同定するポイントを学び, 組織学的特徴と成因・機能などとの関係を再確認する。 <p>[エナメル質] エナメル象牙境, エナメル葉, エナメル叢, エナメル紡錘, 象牙芽細胞突起, 新産線</p>

		<p>[象牙質]</p> <p>原生象牙質, 第2象牙質, 修復象牙質, 透明象牙質 硬化象牙質, 死帯, 髓室, 根管, 外套象牙質, 髓間象牙質</p>
<p>第11回 11月14日(月)</p> <p>9:00~9:50</p> <p>本田 雅規</p>	<p>1. 歯と歯周組織</p> <p>7) 歯根膜</p> <p>(教2) pp. 313-324</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広義には関節と位置づけられる歯根膜の役割と, それを実現する上での組織学的な特徴を学ぶ。 ・ 巨視的な形態(特にその厚み)について, 部位差や加齢に伴う変化を学ぶ。 ・ 歯根膜に存在する種々の細胞について, その特徴, 役割, 発生学的な由来を整理・理解する。
<p>第12回 11月14日(月)</p> <p>10:00~10:50</p> <p>本田 雅規</p>	<p>1. 歯と歯周組織</p> <p>7) 歯根膜</p> <p>(教2) pp. 313-324</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯根膜主線維の走行・分類, 分子構成, 機能的役割, また, 歯根膜の弾性線維系線維群の組織学的な特徴を学ぶ。 ・ 動静脈と神経線維の走行・分布を学び, 脈管神経隙との関係を理解する。 ・ 歯根膜に分布する神経終末, 特に感覚性の受容器をなす構造の形態と機能的な特徴を学ぶ。
<p>第13回 11月18日(金)</p> <p>11:00~11:50</p> <p>本田 雅規</p>	<p>1. 歯と歯周組織</p> <p>8) 歯肉と口腔粘膜</p> <p>(教2) pp. 325-344</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 口腔粘膜を機能的に分類し, それらの特徴と口腔内での分布を知る。 ・ 歯と歯肉の境界部における発生学的な特徴とその機能的意義を把握する。 ・ 歯肉線維の種類, 走行と機能的意義, 歯肉の血液供給と神経分布を理解する。 ・ 表皮および粘膜上皮における非マルピギー系細胞や神経終末の形態学的特徴, 機能的役割を理解する。
<p>第14回 11月18日(金)</p> <p>13:00~13:50</p> <p>本田 雅規</p>	<p>2. 組織像の見かた</p> <p>3) 象牙質 2</p> <p>4) 歯髄 1</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 象牙質, 歯髄で観察される次の構造あるいは細胞を顕微鏡下で同定するポイントを学び, その組織学的特徴と成因・機能などとの関係を再確認する。 <p>[象牙質]</p> <p>象牙細管, 管周象牙質, 管間象牙質, 象牙前質, 球間象牙質, 球間網, 球間区, Tomes 顆粒層, von Ebner 線, Owen 外形線, Andresen 線</p> <p>[歯髄]</p> <p>象牙芽細胞層, 細胞稀薄層, Weil 層, 細胞稠密層セメント質, 中間セメント質</p>

<p>第15回 11月25日(金) 13:00～13:50 本田 雅規</p>	<p>2. 組織像の見かた 4) 歯髄2 5) セメント質 6) 歯根膜</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯髄, 歯根膜, セメント質で観察される次の構造あるいは細胞を顕微鏡下で同定するポイントを学び, その組織学的特徴と成因・機能などとの関係を確認する。 <p>[歯髄] 象牙芽細胞, 線維芽細胞, 膠原線維, 血管, 神経線維 Raschkow 神経叢</p> <p>[歯根膜] 歯根膜線維(主線維), 線維芽細胞, セメント芽細胞 骨芽細胞, 脈管神経隙, Malassez 上皮遺残</p> <p>[セメント質] セメントエナメル境, 細胞性セメント質, 無細胞性セメント質, セメント細胞, セメント小腔, セメント細管, Sharpey 線維, 類セメント質, 中間セメント質</p>
<p>第16回 11月28日(月) 9:00～9:50 本田 雅規</p>	<p>小試験</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 1-5, 7-9, 11-13 回の講義を範囲とする筆答試験を行う。 ・ 詳細は別途通知するが, この試験の結果が思わしくなかった者に対しては, 別途補習措置を講じる。
<p>第17回 12月2日(金) 13:00～13:50 本田 雅規</p>	<p>2. 組織像の見かた 7) 歯槽骨 8) 歯肉と口腔粘膜</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯槽骨, 歯肉で観察される次の構造あるいは細胞を顕微鏡下で同定するポイントを学び, その組織学的特徴と成因・機能などとの関係を再確認する。 <p>[歯槽骨] 固有歯槽骨, 束状骨, Sharpey 線維, 層板骨, 歯槽硬線, 骨芽細胞, 骨細胞, 類骨</p> <p>[歯肉] 口腔上皮, 遊離歯肉, 付着歯肉, 遊離歯肉溝 歯-歯肉境, 歯肉溝, 歯肉溝上皮, 細胞浸潤, 接合上皮 歯肉線維</p>
<p>第18回 12月12日(月) 9:00～9:50 清水 典佳</p>	<p>1. 歯と歯周組織 9) 歯周組織の改造</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 矯正治療にともなう歯の移動時における歯周組織および歯の組織変化について理解する。
<p>第19回 12月12日(月) 10:00～10:50 清水 典佳</p>	<p>1. 歯と歯周組織 9) 歯周組織の改造</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 矯正治療時の顎骨の組織変化について理解する。
<p>第20回 12月19日(月) 9:00～9:50 磯川 桂太郎</p>	<p>3. 口腔組織 1) 顎関節の構成 2) 顎関節の組織像</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 滑膜性関節の一般構造を学び, これと対比することで, 顎関節の構成とその特徴を理解する。

		<ul style="list-style-type: none"> 下顎骨の関節突起および下顎頭の特異性を組織・発生学的な観点から学ぶ。
第21回1月23日(月) 9:00~9:50 清水 治	3. 口腔組織 3) 唾液腺の発生と再生	<ul style="list-style-type: none"> 唾液腺の発生段階を理解する。 発生過程での細胞増殖, 分化, branchingなどを調節する因子とその働きを学ぶ。 再生過程における唾液腺の変化を学ぶ。 唾液腺における発生と再生の異同を理解する。
第22回1月23日(月) 10:00~10:50 清水 治	3. 口腔組織 4) 唾液の分泌と分泌障害	<ul style="list-style-type: none"> 唾液の分泌メカニズムを理解する。 ドライマウスで代表される分泌障害の病態を学ぶ。 唾液腺の加齢変化を学ぶ。
第23回1月27日(金) 11:00~11:50 中島 一郎	1. 歯と歯周組織 1 0) 歯の発育障害 (教3) pp. 69-88	<ul style="list-style-type: none"> 歯の発育段階と障害の種類を理解する。 歯の障害としての歯数, 形態, 結節, 歯髓腔の発生時, 原因, 所見について学ぶ。 障害の臨床上的診査, 処置法を学ぶ。
第24回1月27日(金) 13:00~13:50 中島 一郎	1. 歯と歯周組織 1 0) 歯の発育障害 (教3) pp. 89-95	<ul style="list-style-type: none"> 歯の形成不全の種類, 発生時期を学ぶ。 歯の萌出異常として新生歯, 生歯困難, 萌出遅延, 異所萌出, 低位歯などについて原因, 所見を知る。 萌出異常の臨床診査, 処置法を学ぶ。
第25回1月30日(月) 9:00~9:50 磯川 桂太郎	3. 口腔組織 5) 下顎頭形態と顎運動 6) 顎の加齢変化	<ul style="list-style-type: none"> 下顎頭の形態の差異が下顎運動に及ぼす影響を比較解剖的に理解する。 上・下顎骨の加齢にともなう形態変化を学ぶ。
第26回1月30日(月) 10:00~10:50 本田 和也	3. 口腔組織 7) 顎関節の動き	<ul style="list-style-type: none"> 顎関節を構成する各部の名称を学ぶ。 生体における顎関節円板の位置や形態を動画像を通して学び, 顎関節円板の役割を理解する。 顎関節症で生じる円板障害について学び, 円板の位置や形態変化を理解する。